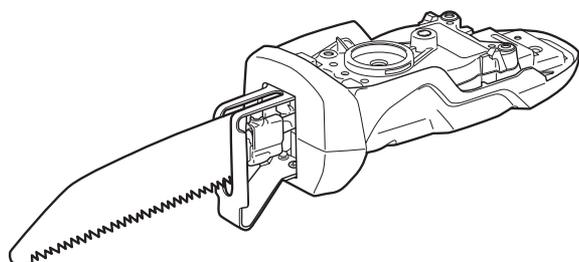


スーパーマルチツール のこぎりユニット GN01



※ 本製品はスーパーマルチツール本体ユニットを取付けなければご使用になれません。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書とスーパーマルチツール本体ユニットの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ	ページ
安全上のご注意	1
のこぎりユニット	
ご使用に際して	2
騒音について	4
各部の名称	5
仕様	6
付属品	7
用途	7
別販売品	8
のこぎりユニットの	
取付け、取外し	9
ブレードの取付け・取外し	12
ご使用前の準備	13
作業する場所に関して	
スイッチの扱い方	14
SMT-2000 の場合	
BSMT-1800 の場合	
取付可能な先端工具	16
切断作業	17
基本的な使い方	
効率的な使い方	
作業例	
各種ブレード	20
ブレードホルダー	
(ジグソーブレード用)	21
ブレードについて	22
各部取付けネジの点検	22
使用後の手入れ	22
作業後の保管	22
修理について	22
故障かなと思ったら	23
保証書	26

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			

警告

共通の危険・警告・注意事項は、電気式 SMT-2000 / 充電式 BSMT-1800 のスーパーマルチツール本体ユニット（以下、本体ユニット）の取扱説明書をよくお読みいただき、のこぎりユニットご使用の際には、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

のこぎりユニットご使用に際して

警告

作業の前に	 必ず守る	作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。 ・電線などがあると、ブレードが触れ、感電や漏電のおそれがあり、事故の原因になります。	 感電注意
安全作業のため	 必ず守る	使用中は、本機を確実に保持してください。 ・確実に保持していないと、けがの原因になります。	
	 禁止	使用中は、ブレードや切り屑に手や顔などを近づけないでください。 ・けがの原因になります。	
作業のため	 点検・確認	使用中、工具類（ブレードなど）が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどのおそれがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。 ・埋設物に触れると事故の原因になります。	
	 禁止	セフティロックボタンを押込んだ状態で、テープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。 ・安全機構が働かず、けがの原因になります。	
作業のため	 禁止	スイッチを引いた状態で、紐やテープなどを使ってスイッチを固定しないでください。 ・けがの原因になります。	

安全上のご注意

⚠ 警告

安全作業のため



必ず守る

停電などの時は必ず、スイッチを切ってください。

・ 停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどによりモーターが停止したときは必ずスイッチを切ってください。電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。(本体ユニット電気式の場合)



必ず守る

切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードが、はさみ付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

・ ブレードがはさみ付けられると、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや本機などに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。

⚠ 注意

作業の前に



よく読む

ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

・ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。

⚠ 注意

安全作業のためには



必ず守る

ブレードなどの交換は手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。

・ けがの原因になります。



必ず守る

作業直後のブレード、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。

・ やけどの原因になります。



必ず守る

高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

・ 材料や本機など落としたとき、事故の原因になります。



必ず守る

本機を作動させたまま床などに放置しないでください。

・ けがの原因になります。



必ず守る

連続して使用したときは、本機が熱を持ち熱くなります。

特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。

・ やけどの原因になります。



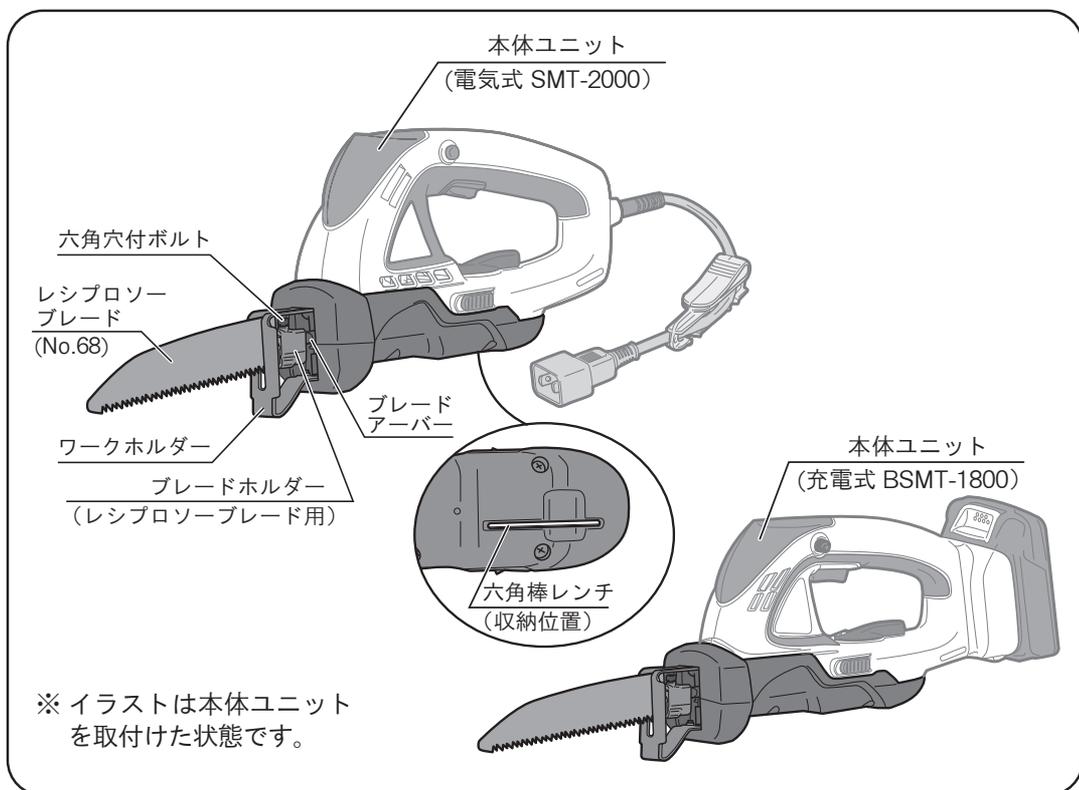
騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

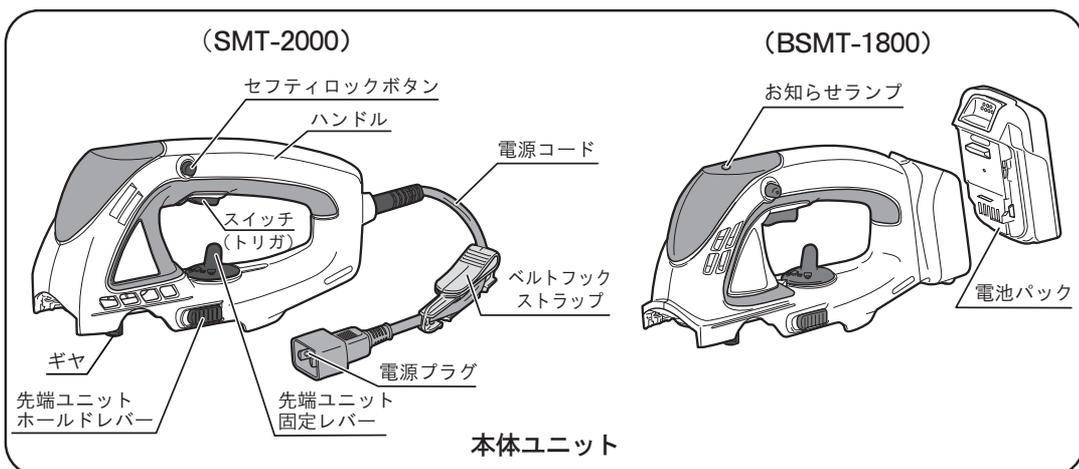
この取扱説明書は、大切に保管してください。

主要機能・名称

■各部の名称



※ 本機は、本体ユニットを取付けなければご使用になれません。



仕様

● 本体ユニット（電気式 SMT-2000）取付け時

- ・ 電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・ 定格電流 2A
- ・ 消費電力 180W
- ・ ストローク数（無負荷） 1,600min⁻¹
- ・ ストローク量 14 mm
- ・ 切断能力 庭木（径） 40mm
木材（厚さ） 30mm
- ・ 本機寸法（長さ×幅×高さ） 295 × 95 × 174 mm
- ・ 質量 1.4kg
- ・ コード長さ 0.25 m
- ・ 絶縁方式 二重絶縁

● 本体ユニット（充電式 BSMT-1800）取付け時

- ・ 電源 DC18V（リチウムイオン）
- ・ ストローク数（無負荷） 1,850min⁻¹
- ・ ストローク量 14 mm
- ・ 切断能力 庭木（径） 40mm
木材（厚さ） 30mm
- ・ 本機寸法^{※1}（長さ×幅×高さ） 321 × 95 × 172 mm
- ・ 質量^{※1} 1.8kg
- ・ 1 充電あたりの作業量（目安）^{※1}

被削材	サイズ	使用ブレード	切断数
米松	（径）30mm	175mm（No.89）	約 190 カット

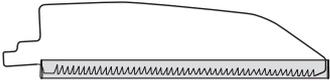
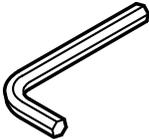
表中の数値は参考値です。電池パックの電池容量および、材質、ブレードの切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

※1 電池パック（B-1815LA）取付け時の値です。

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・用途

■ 付属品

<p>レシプロソーブレード No.68…………… 1 (ブレードカバー付) (木工・剪定用)</p> 	<p>ブレードホルダー (本機取付) …… 1 (六角穴付ボルト付)</p> 
<p>六角棒レンチ 3mm …………… 1 (本機収納)</p> 	<p>キャップ …………… 1 (本機取付)</p> 

■ 用途 (用途に合わせて別販売品のブレードをお買い求めください。)

- ・ 庭木の剪定
- ・ 各種木材、合成樹脂の切断

⚠ 警告



必ず守る

- ・ のこぎりユニットには、ポールを取付けて使用しないでください。ポールを取付けて使用した場合、けがや故障の原因になります。

別販売品

●のこぎりユニット用



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



- ・ 各種ブレード
- ・ ブレードホルダー（ジグソーブレード用）：21 ページ参照

（他の先端ユニット用の別販売品について）

※ 取付け可能な先端ユニットについては、同梱してある「スーパーマルチツール先端ユニット」一覧表を参照ください。

※ 先端ユニット用の別販売品は、各先端ユニットの取扱説明書をご確認ください。

準備

■のこぎりユニットの取付け、取外し

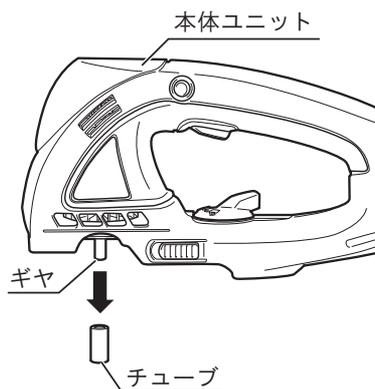
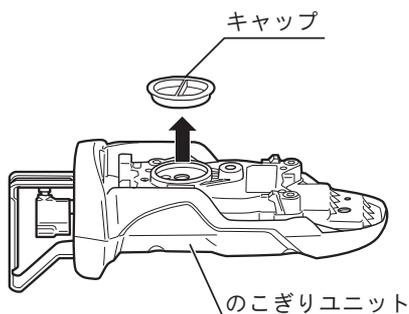
警告



必ず守る

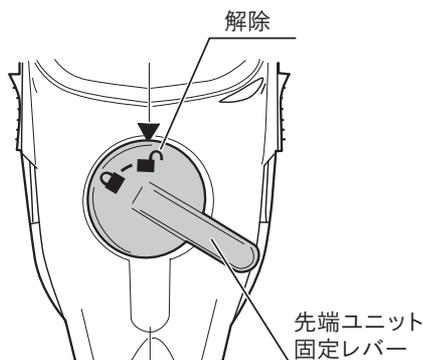
- ・ のこぎりユニットの取付け、取外しのときは、本体ユニットのスイッチを必ず切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ のこぎりユニットの取付け、取外しのときは、手袋などで手を保護してから行なってください。ギヤの発熱によるやけど、けがの原因になります。
- ・ のこぎりユニットは確実に取付けてください。確実に取付けていないと、脱落によるけがの原因になります。

- ・ ゴミやホコリの侵入を防ぐために、のこぎりユニットにキャップ、本体ユニットのギヤ部にチューブを取付けています。使用前に取外してください。（取外したチューブとキャップは保管してください。）



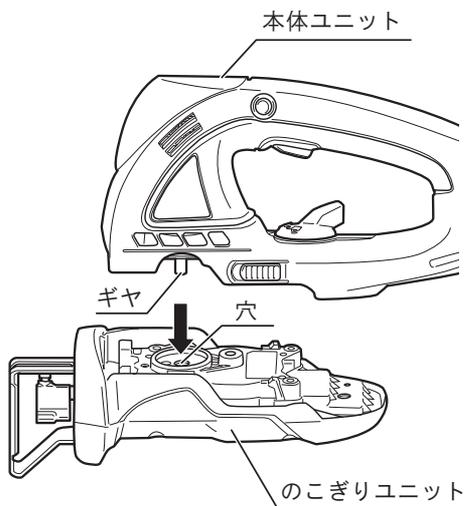
(取付け)

1. 本体ユニットの先端ユニット固定レバーが解除の位置になっていることを確認してください。

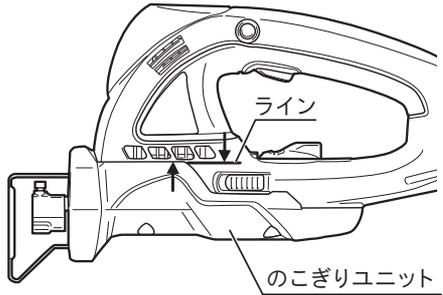


2. 本体ユニットのギヤとのこぎりユニットの穴を合わせて取付けます。

 チューブとキャップを取外していることを確認してください。
・ 上手く取付けられない場合は、手でギヤを少し回してみてください。(手袋などで手を保護してください。)



 取付けた後、右図の位置にある本体ユニットの溝状のラインと、のこぎりユニットの端面が一致して取付けられていることを確認してください。

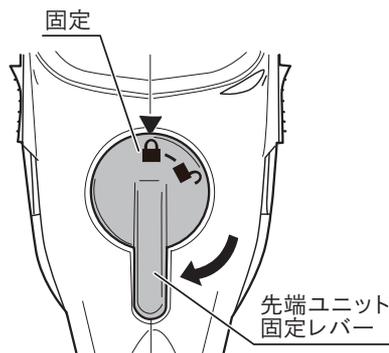


ライン

のこぎりユニット

3. 先端ユニット固定レバーを固定の位置にしてください。

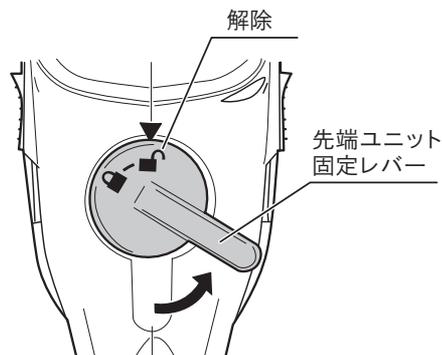
 正しく取付けられていないと、先端ユニット固定レバーが固定の位置に動かさません。



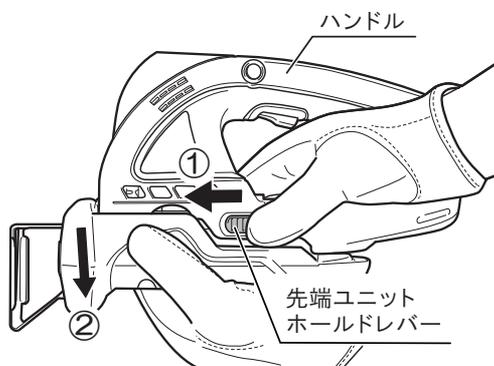
準備

(取外し)

1. 本体ユニットの先端ユニット固定レバーを解除の位置にしてください。



2. 右図のように本体ユニットのハンドル下に手を入れ、両側にある先端ユニットホールドレバーを矢印①の方向にスライドさせながら、のこぎりユニットを矢印②の方向に取外します。



使用した直後は、本体ユニットのギヤ部やのこぎりユニットは熱くなっています。手袋などで手を保護し作業してください。



取外して保管する場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐために、本体ユニットのギヤ部にチューブ、のこぎりユニットにキャップを取付けてください。

■ ブレードの取付け・取外し

⚠ 警告



必ず守る

- ・ ブレードの取付け、取外しのときは、本体ユニットのスイッチを必ず切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。不意な始動による、けがの原因になります。

⚠ 注意

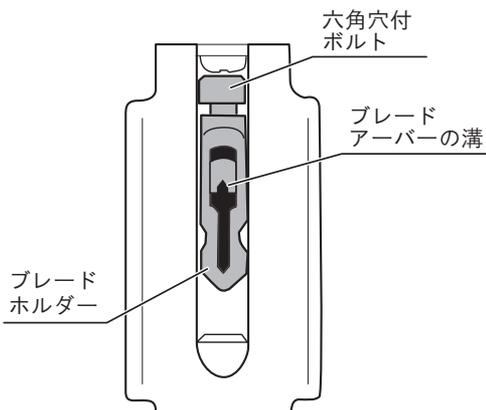


必ず守る

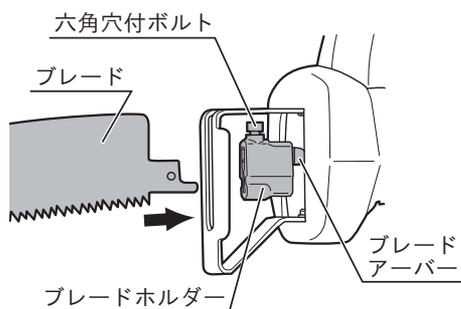
- ・ ブレードは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、外れたり、けがの原因になります。
- ・ 作業直後のブレードは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ ブレードの取付け、取外しのときは、手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。けがの原因になります。
- ・ 固定の仕方によっては、振動によりブレードの取付けがゆるむことがあります。ブレードを取付けたときは、試し切りをした後でブレードホルダーの六角穴付ボルトを締めなおしてください。

(取付け)

1. 付属品の六角棒レンチ (3mm) で六角穴付ボルトをゆるめます。
2. ブレードの刃先に注意しながら、ブレードホルダーとブレードアーバーの溝部にブレードを奥までさし込みます。

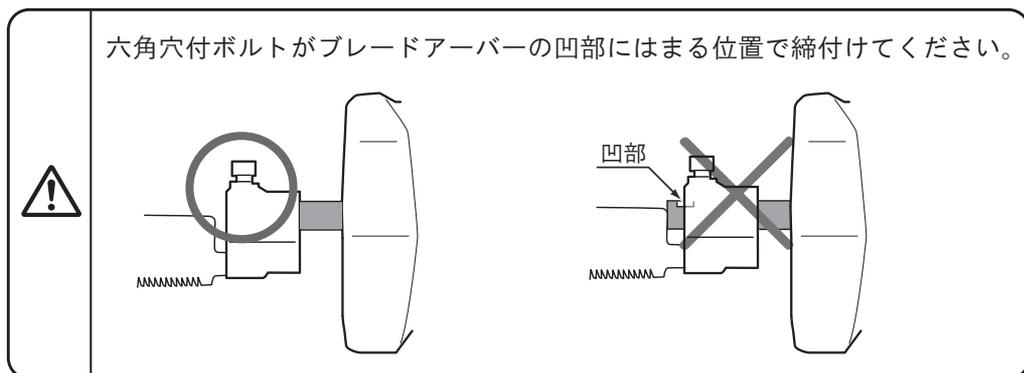
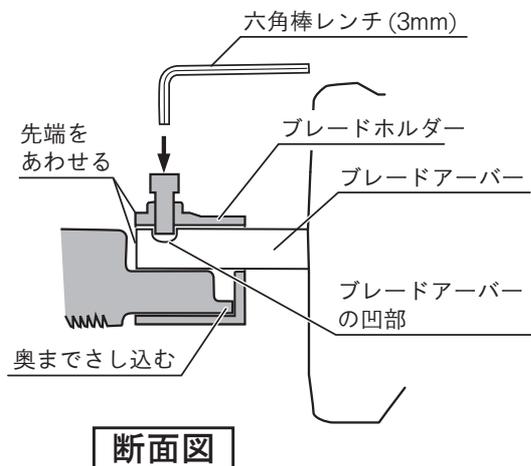


正面図



準備

3. ブレードホルダーとブレードアーバーの先端を合わせ、ブレードをブレードホルダーの奥までさし込んで、六角穴付ボルトを六角棒レンチ（3mm）で締付けてください。



4. ブレードの背面を指で2～3回引っ張り、ブレードが確実に取付けられたことを確認してください。

(取外し)

- ・ 付属品の六角棒レンチ（3mm）で六角穴付ボルトをゆるめます。刃先に注意しながらブレードを引抜きます。

■ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・ 作業場は整頓し、明るくしてご使用ください。

使い方

■スイッチの扱い方

● SMT-2000 の場合

⚠ 警告



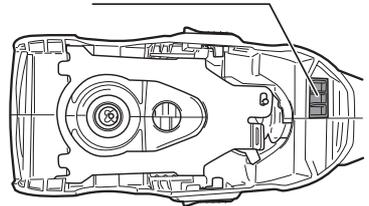
必ず守る



禁止

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速になり、本機が損傷するおそれがあります。
- ・ 不意な始動は避けてください。本機が作動して、けがのおそれがあります。
- ・ セフティロックボタンを押込んだ状態でテープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。安全機構が働かず、けがの原因になります。
- ・ セフティブロックは安全機構のため、意図的に操作しないでください。セフティブロックを押すと、意図せずモーターが回転することがあります。

セフティブロック

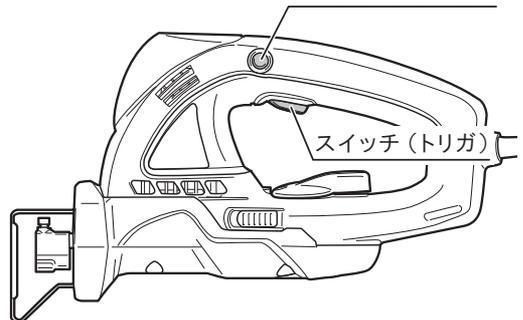


- ・ 本機は先端ユニット固定レバーを固定の位置にしなければ、スイッチは入りません。
- ・ 本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。

- ・ スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。トリガを放すとスイッチは切れます。

セフティロックボタン

スイッチ (トリガ)



使い方

● BSMT-1800 の場合

警告

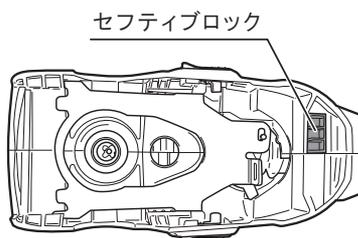


必ず守る



禁止

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・不意な始動は避けてください。本機が作動して、けがのおそれがあります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態でテープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。安全機構が働かず、けがの原因になります。
- ・セフティブロックは安全機構のため、意図的に操作しないでください。セフティブロックを押すと、意図せずモーターが回転することがあります。

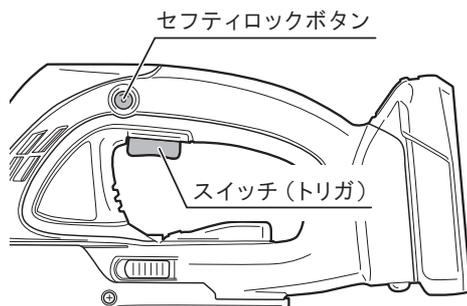


- ・本機は先端ユニット固定レバーを固定の位置にしなければ、スイッチは入りません。
- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・電池パックを本体ユニットに取付けるときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・スイッチを切った直後に再度スイッチを入れると、保護回路が働き、本機が動かない場合がありますが、異常ではありません。

- ・スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。セフティロックボタンを放した状態で、トリガを放すとスイッチは切れます。

連続運転する場合

- ・トリガをいっぱいに引いた状態で、セフティロックボタンを押込んだまま、トリガから指を放すと、トリガが固定され連続運転になります。
- ・再度トリガを引くと固定が解除され、トリガを放すとスイッチが切れます。



■ 取付可能な先端工具

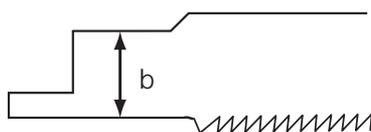
取付可能な寸法一覧 (mm)

板厚 (t)	幅 (b)	
	レシプロソーブレード	ジグソーブレード
0.6	12.3 ~ 12.9	6.6 ~ 7.1
0.7	12.2 ~ 12.8	6.5 ~ 7.0
0.8	12.2 ~ 12.7	6.5 ~ 6.9
0.9	12.1 ~ 12.6	6.4 ~ 6.8
1.0	12.0 ~ 12.6	6.3 ~ 6.8
1.1	11.9 ~ 12.5	6.2 ~ 6.7
1.2	11.8 ~ 12.4	6.1 ~ 6.6
1.3	11.8 ~ 12.3	6.1 ~ 6.5
1.4	11.7 ~ 12.2	6.0 ~ 6.5
1.5	11.6 ~ 12.2	5.9 ~ 6.4
1.6	11.5 ~ 12.1	5.8 ~ 6.3
1.7	11.4 ~ 12.0	5.8 ~ 6.2
1.8	11.3 ~ 11.9	5.7 ~ 6.1

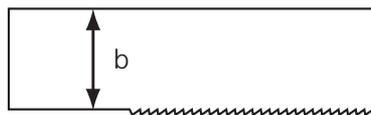
● レシプロソーブレード

取付け部の形状

- ・ 通常のレシプロソー用
(板厚 1.0mm、幅 (b) 12.6mm)



- ・ 金切鋸刃 (ハクソー) などの形状
四角い板状であれば左表の寸法内で取付け可能です。
* 必要取付長さは 10 ~ 20mm



※ 市販されている手鋸刃の取付けはできません。

● ジグソーブレード

取付可能なブレードタイプ

スタンダードタイプ	Bタイプ

※ ジグソーブレードを取付けるときは、ブレードホルダーをジグソーブレード用に交換する必要があります。ジグソーブレード用のブレードホルダーは別販売品となっております。別途お買い求めください。

使い方

■切断作業

警告



必ず守る

- ・加工材をしっかりと固定してください。加工材を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具を使用できます。
- ・使用中、ブレードが電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどのおそれがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。埋設物に触れると事故の原因になります。
- ・使用中はブレードや切り屑に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードが、はさみ付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ブレードがはさみつけれられると、けがの原因になります。

注意



必ず守る

- ・作業直後のブレード、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- ・連続して使用したときは、本機が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。やけどの原因になります。



- ・加工材に適したブレードを使用してください。ブレードの先端が常に加工材より出ている（ストローク量以上）ものを選んでください。ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードが折損するおそれがあります。
- ・無理な作業はブレードが折れる原因になります。

● 基本的な使い方

- ・ 加工材がブレードと一緒に前後しないように加工材を固定して切断してください。加工材をワークホルダーに押し付けると、加工材を固定しやすくなります。
- ・ ブレードを過度に曲げず、本機とブレードが直線になるように保ったまま切断してください。



- ・ 切断中にブレードを過度に曲げたり、本機を左右に振ると、ブレードが破損したり、ブレードとブレードホルダーが外れるおそれがあります。
- ・ ブレードの先端が左右に振れているときは、本機を強く押さえ過ぎていることが考えられます。無理に押さえつけずに少し緩めてください。
- ・ 固定の仕方によっては、振動によりブレードの取付けがゆるむことがあります。ブレードを取付けたときは、試し切りをした後でブレードホルダーの六角穴付ボルトを締めなおしてください。

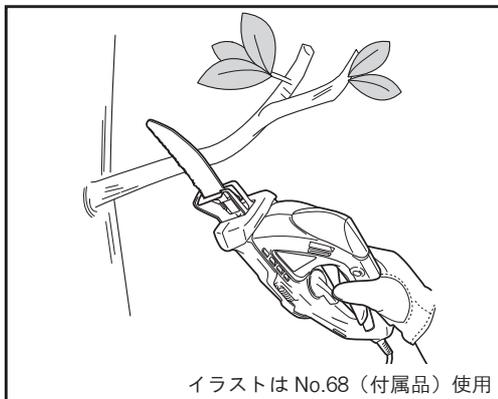
● 効率的な使い方

- ・ 厚い加工材を切断するときは、ブレードの目に屑が詰まり切断スピードが遅くなります。このようなときは本機を手鋸のように前後に動かしブレード全体を使う（引き切りをする）と、切り屑が排出され、効率よく切断できます。
- ・ 引き切りをするスペースが無い場合は、ブレードの手前側と先端側を交互に押さえるように動かすと、切り屑が排出され、効率よく切断できます。

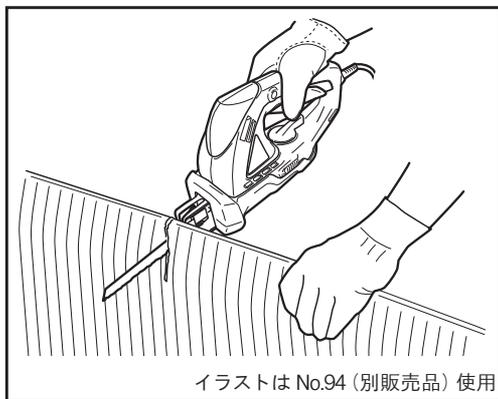
使い方

●作業例

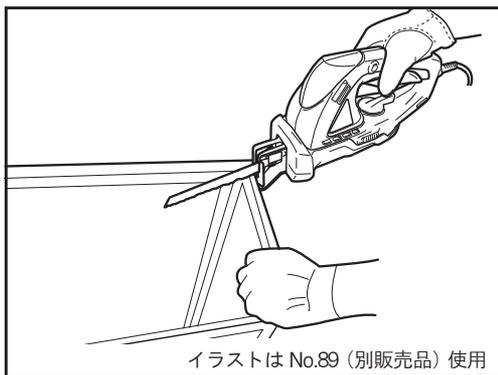
庭木の枝落とし



ダンボールの解体



樹脂製品の切断



別販売品について



- ・別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



■各種ブレード（用途に合わせてお買い求めください。）

ブレードの詳細につきましては、カタログでご確認ください。

レシプロソーブレード （レシプロソー刃）	ジグソーブレード （ジグソー刃）
・木工・合成樹脂用 ・ナイフブレード ・竹、雑木、果樹、細工用 など	・木工・新建材・アルミ用 ・ナイフブレード など

※ 加工材に適したブレードを使用してください。

※ 常に切れ味の良いブレードを使用してください。

別販売品について

■ ブレードホルダー（ジグソーブレード用）

- ・ ジグソーブレードを使用する場合は、ブレードホルダーをジグソーブレード用に交換してください。

（交換方法）

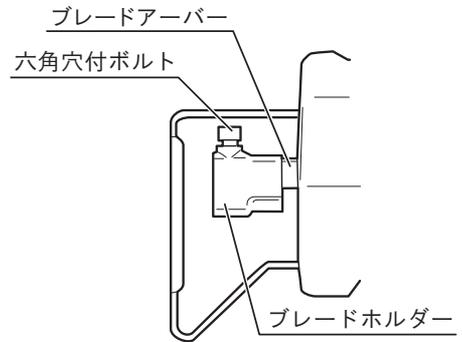
警告



必ず守る

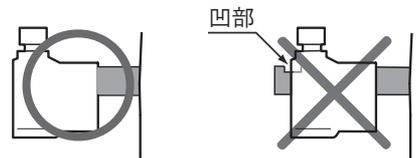
- ・ ブレードホルダーを交換するときは、本体ユニットのスイッチを必ず切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・ 本機収納の六角棒レンチ（3mm）を取出し、六角穴付ボルトをゆるめてブレードホルダー（レシプロソー用）を取外します。
- ・ ジグソーブレード用のブレードホルダーをブレードアーバーにさし込み、六角穴付ボルトを締付けて固定します。



※ ブレードホルダーは、ブレードアーバーの先端に合わせてから六角穴付ボルトを締付けてください。

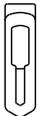
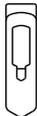
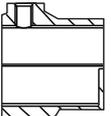
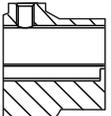
六角穴付ボルトがブレードアーバーの凹部にはまる位置で締付けてください。奥側で締付けると破損の原因になります。



※ ブレードホルダーの区別は図1で確認してください。

- ・ 交換作業終了後は、六角棒レンチを本機に収納してください。

ブレードホルダー 図1

レシプロソー ブレード用	ジグソー ブレード用
 正面	 正面
 横(断面)	 横(断面)

保守と点検

警告



必ず守る

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。けがや感電の原因になります。



分解禁止

- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

■ブレードについて

- ・ブレードは常に切れ味の良いものを使用してください。切れないブレードを使用すると作業能率が悪いばかりでなく、モーターが過負荷状態になり、故障の原因になります。

■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

- ・本機は、乾いた布・せっけん水をつけた布などでふきとり、汚れを落としてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本機をいためます。また、本機の水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- ・ブレードカバーを取付け、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・本体ユニットから取外して保管する場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐためにキャップを取付けてください。

■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置	参照ページ
のこぎりユニットの取付けができない	本体ユニットのギヤのかみ合わせが悪くありませんか。	手でギヤを少し回してみてください。	10
先端ユニット固定レバーが固定の位置にできない	取付け位置は正しいですか。	本体ユニットの溝状のラインと、のこぎりユニットの端面を合わせて取付けてください。	10
動かない	先端ユニット固定レバーが固定の位置になっていますか。	本体ユニットと、のこぎりユニットを正しい位置に取付けた後、先端ユニット固定レバーを確実に固定の位置にしてください。	10
切断が上手にできない	ブレードが古くなっていませんか。	新しいブレードに交換してください。	12～13
	ブレードの切れ味が悪くなっていませんか。	寿命とお考えいただき、新しいブレードをお買い求め、交換してください。	12～13

※ 本体ユニットの取扱説明書もあわせてご確認ください。

これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

NOTE

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品

保守と点検

NOTE

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		GN01	製造番号（本体の銘板をご確認ください）
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
			電話 ()
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）
年 月 日			1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用消耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市長久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

